

県選出議員
国会質疑

TPP、年金廃案を



衆院は29日、本会議を開き、本県関係では太田和美議員(民進党・比例南関東)が今国会の会期延長について反対討論を行った。

太田氏は「今国会の延長を諦め、TPP(環太平洋連携協定)関連法案と年金力ツト法案(年金改革法案)を廃案とすべき」と訴えた。T

PPについては「離脱を表明するトランプ氏が米国大統領選挙で勝利し、協定発効は絶望的。会期を延長してまで審議を続ける意味はまったくない」と指摘した。さらに、年金改革法案の審議時間の短さや相次いだ与党幹部の失言を取り上げ「数の力におごる政府与党の慢心を許すことができない」と反対の理由を説明した。